

2015年7月3日

## 外国株式のレンディング運用の開始について

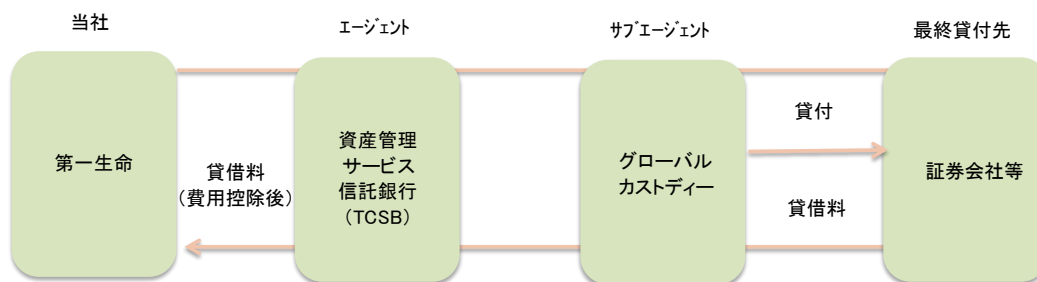
第一生命保険株式会社(社長:渡邊光一郎、以下「当社」)は、運用手法を多角化し、資産運用事業における付加収益を獲得するため、2015年7月1日より外国株式のレンディング運用(以下、本取組み)を開始しました。本取組みは、国内大手生保として初の取組みとなります。

本取組みを実施するにあたっては、会計処理に係る事務処理等、様々な課題を解決する必要があります。本取組みは、当社のグループ会社かつ有価証券保管・管理業務等の委託先である資産管理サービス信託銀行と共同で検討・開発を行い、同社に専用のシステムを構築することで実施が可能となったものです。

当社は、今後も運用手法の多角化を通じて、資産運用事業における付加収益を追求すべく、様々な取組みに挑戦していきます。

### 【外国株式レンディング取引スキームについて】

当社が保有する外国株式を、エージェント・サブエージェントを通じて証券会社等に貸し出すことにより、貸借料を収入として得るものです。



資産管理サービス信託銀行（TCSB）の概要

商号：資産管理サービス信託銀行株式会社（Trust&Custody Services Bank,Ltd）

住所：東京都中央区晴海 1 丁目 8 番 12 号 晴海トリトンスクエア タワーZ

資本金：500 億円

業務内容：有価証券を中心とする資産管理業務

主な出資者：株式会社みずほフィナンシャルグループ 54%

第一生命保険株式会社 23%